

# 2011年2月研究会

日 時：2011年2月14日（月）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6 階会議室

講演者：塚本喜左衛門（ツカキグループ代表取締役）

演 題：「日本的経営の源流－近江商人の「三方よし」精神」

司 会：末永國紀（同志社大学経済学部教授、事業承継学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

\*\*\*\*\*

## 講師プロフィール

---

塚本喜左衛門（ツカキグループ代表取締役）

1948年、滋賀県東近江市五個荘金堂町生まれ。1971年、大阪市立大学経済学部卒業。1975年、ツカキ株式会社を設立し、社長に就任。1984年 塚喜商事株式会社の社長に就任（喜左衛門襲名）、ツカキグループ各社の社長に就任。主な公歴としては、(社)日本毛皮協会副理事長、(社)下京納税協会監事、NPO 三方よし研究所監事等を歴任。



## 事務局報告

本研究会は、事業承継学会と同志社大学 ITEC が共催する形で開催されました。

ツカキグループは、幕末の慶応 3（1867）年に初代塚本喜左衛門氏が近江五個荘より京都に出て創業した呉服問屋であり（最近では、呉服だけでなく、毛皮・レザー・バック、宝飾、ウェディング衣装等の多方面にわたって事業展開）、講演者の塚本氏は初代より数えて 6 代目に当たります。今回のご講演においては、まさに日本的経営の源流というべき近江商人の「三方よし」精神（売り手よし、買い手よし、世間よし）が塚本家ならびにツカキグループにおいてどのように世代を越えて継承され、現在に至っているのかについて、興味深いエピソードを交えながらお話いただきました。

本研究会の出席者数は 30 名でした。